



# シニア世代の生命保険に関する 意識および利用実態について

～ アンケート調査結果(抄録版) ～

株式会社ピー・アンド・イー・ディレクションズ

2010年5月

*Strictly Confidential*

# シニア層における生命保険の意識と利用実態 エグゼクティブサマリ

## 生命保険への加入状況

- 保険の種別の加入率では、もっとも加入率が高い医療保険で全調査サンプルの64.3%、終身保険が同じく51.7%となっている
- いっぽうまったく保険に入っていない層は全調査サンプルの4.8%にとどまる
- 個人年金、養老保険、簡易保険においては女性の加入率が男性よりも高い
- 男女とも1ヶ月の掛け金は1万円未満、1万円～2万円のレンジがもっとも多くなっている
- 種類を問わず契約している保険会社をあげてもらったところ、各種共済とかんぽ/簡易保険を除くと、日本生命、アメリカンファミリーの契約者が多くなっている

## インターネットでの生命保険契約に関して

- インターネットによる保険契約が今後F50世代にも拡大していくと考える人は全調査サンプルのうち53%であり、どちらかというとなら男性に積極的な意見が多くみられる
- インターネットによる保険契約が広がらないとする理由として、インターネット利用スキルの問題よりもむしろ、「対面で説明を聞かないと内容が理解できない、意思決定に至らない」ことを挙げる回答者が多い

## 生命保険に関する相談・情報収集

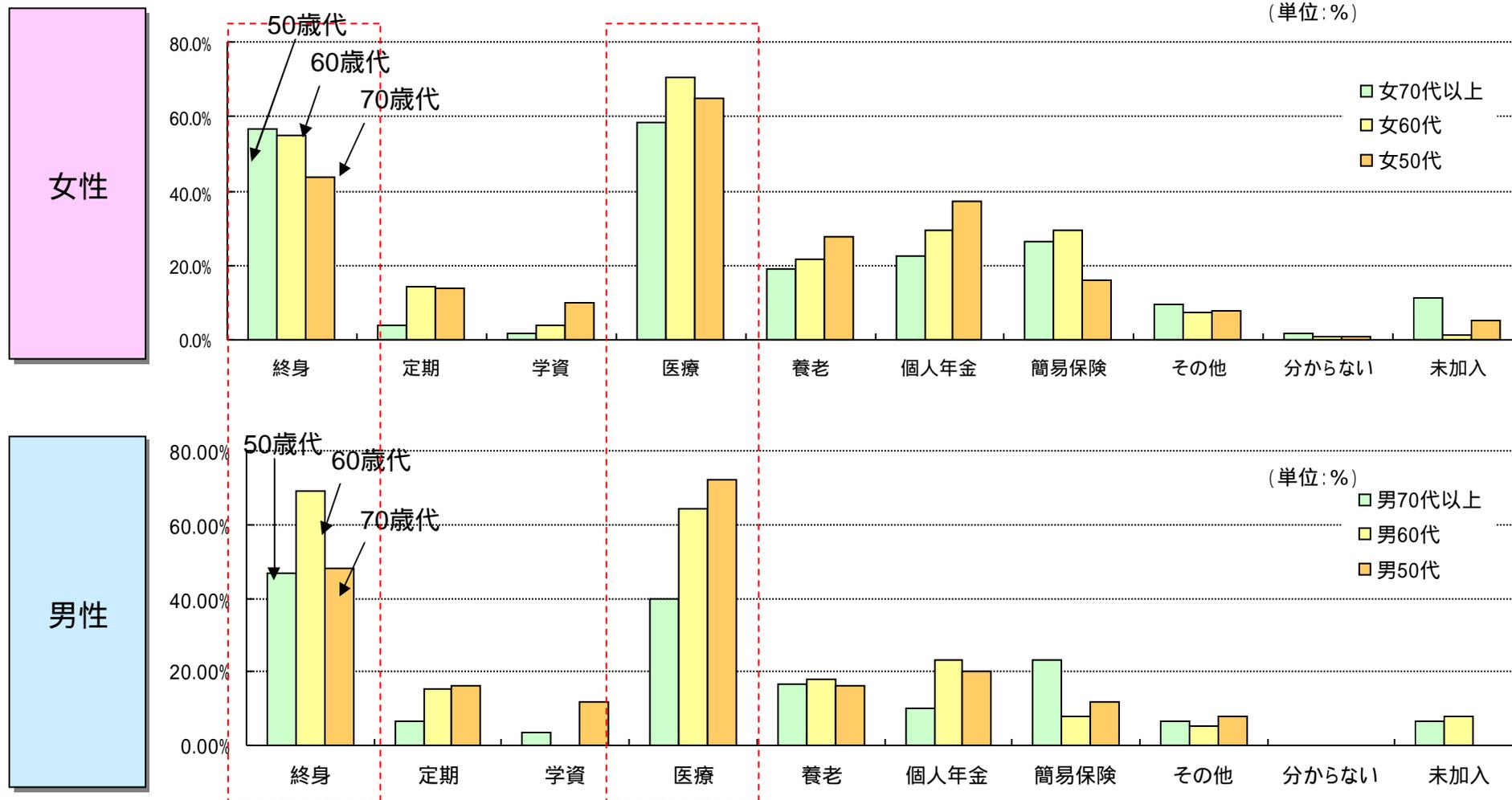
- 生命保険契約の見直しについて、第三者に相談をした人は35.8%であり、そのほとんどは保険外交員や保険会社の社員への相談である
- 生命保険会社が開催するセミナーへの参加経験者は7.8%と少なくなっているが、有益な情報が得られるのであれば参加してもよいと考えている層が全調査サンプルの3割程度存在する

# 生命保険の契約状況

現在契約している生命保険の種類 (性別年齢帯別加入率%)

N=414

(単位: %)

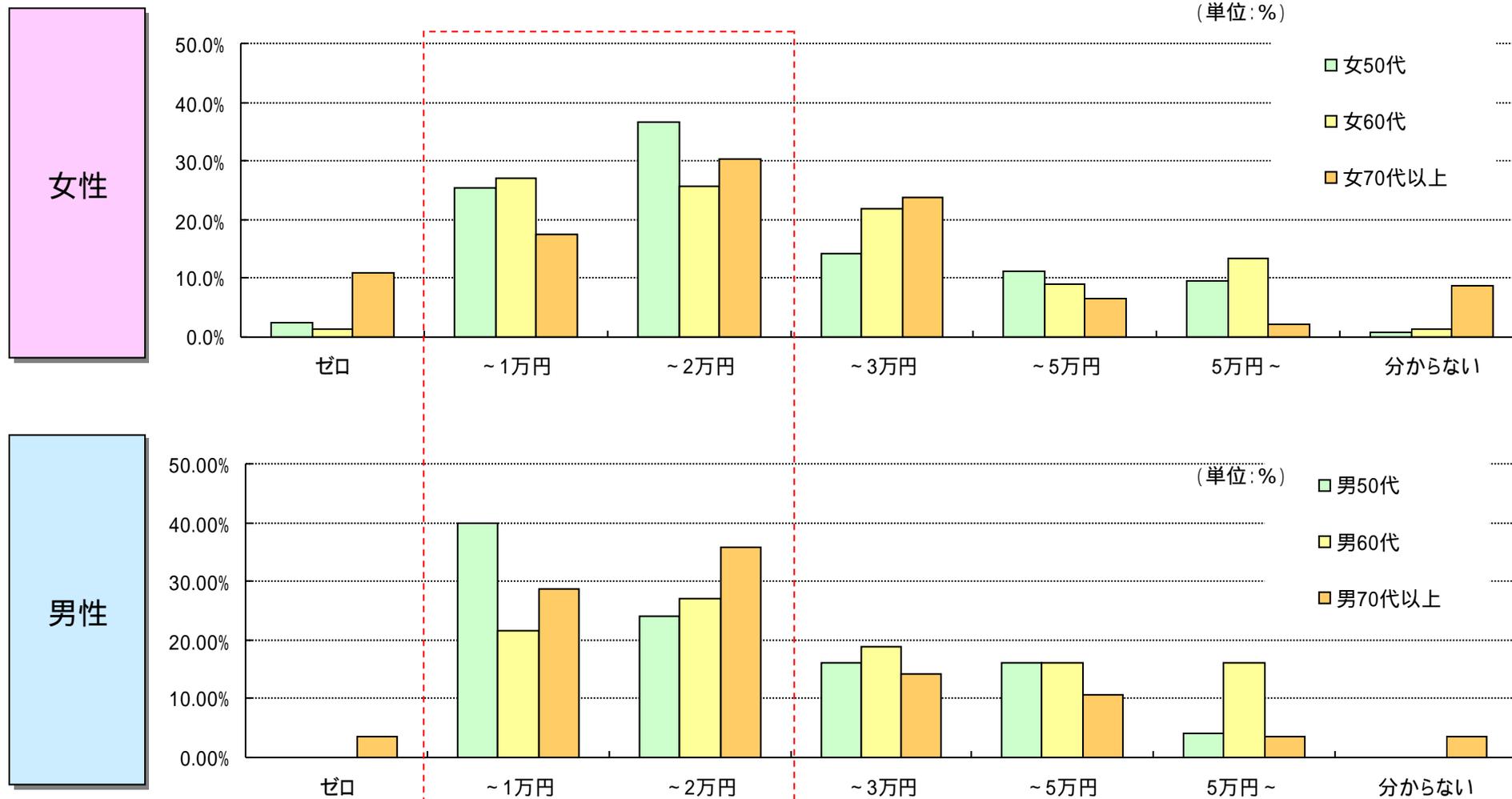


医療保険、終身保険への加入率が高い

# 毎月の掛け金支払額

現在支払っている月額保険料 (性別年齢帯別比率)

N=414

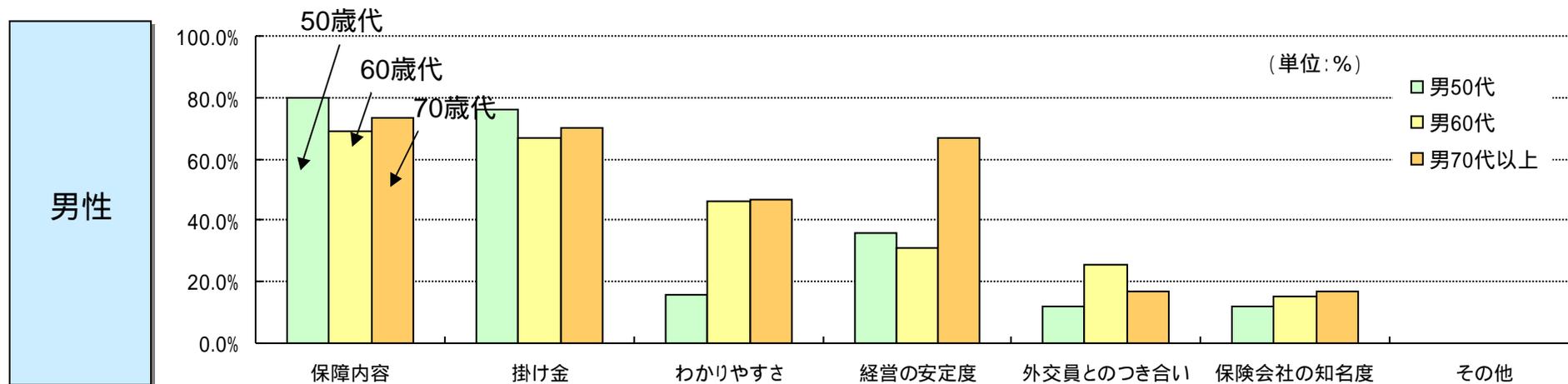
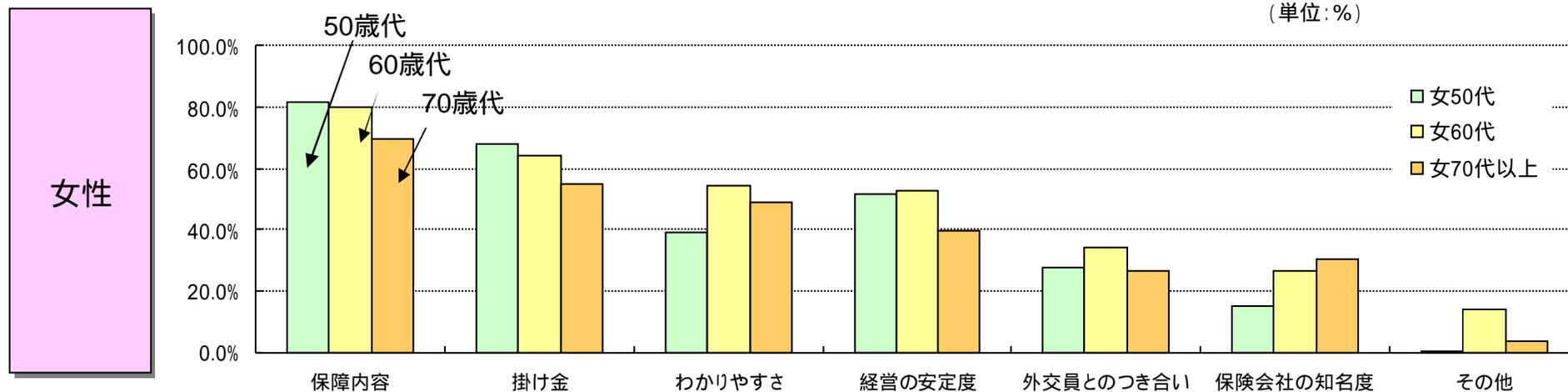


男女とも2万円までのレンジで支払っている層が多数派

# 保険を選ぶ際に重視する点

保険を選ぶ際に重視する点 (性別年齢帯別加入率%)

N=414



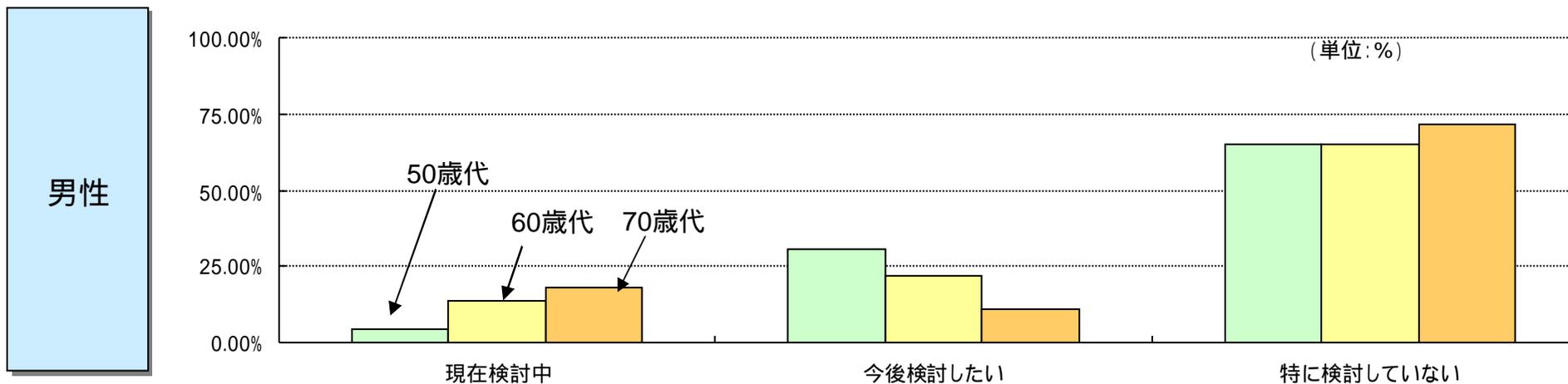
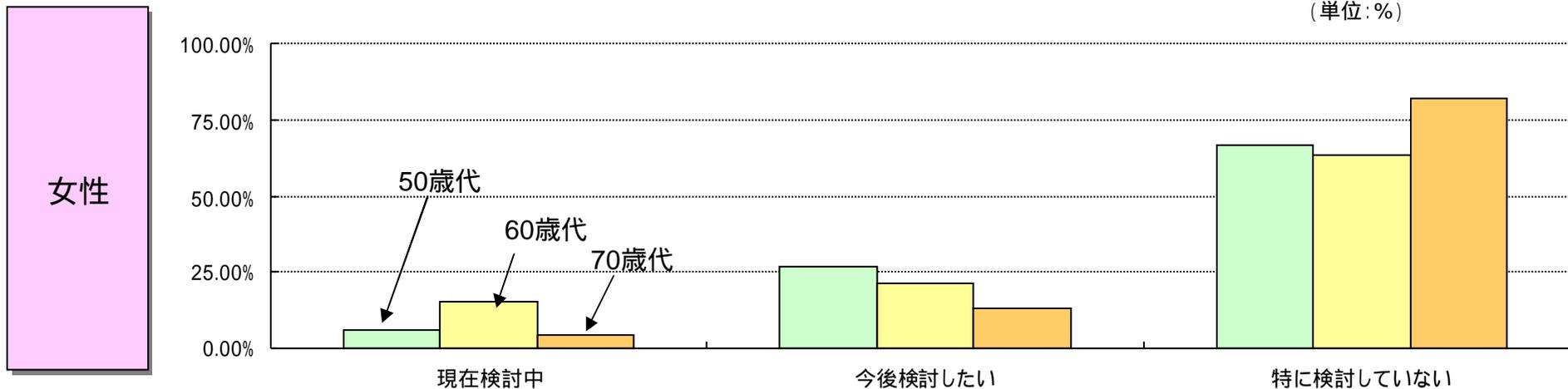
保障内容と掛け金の額から選定されることが多い  
「外交員とのつき合い」も2割ほど存在

# 今後の生命保険見直し検討状況

今後の見直し検討状況 (性別年齢帯別比率)

N=394

(単位: %)



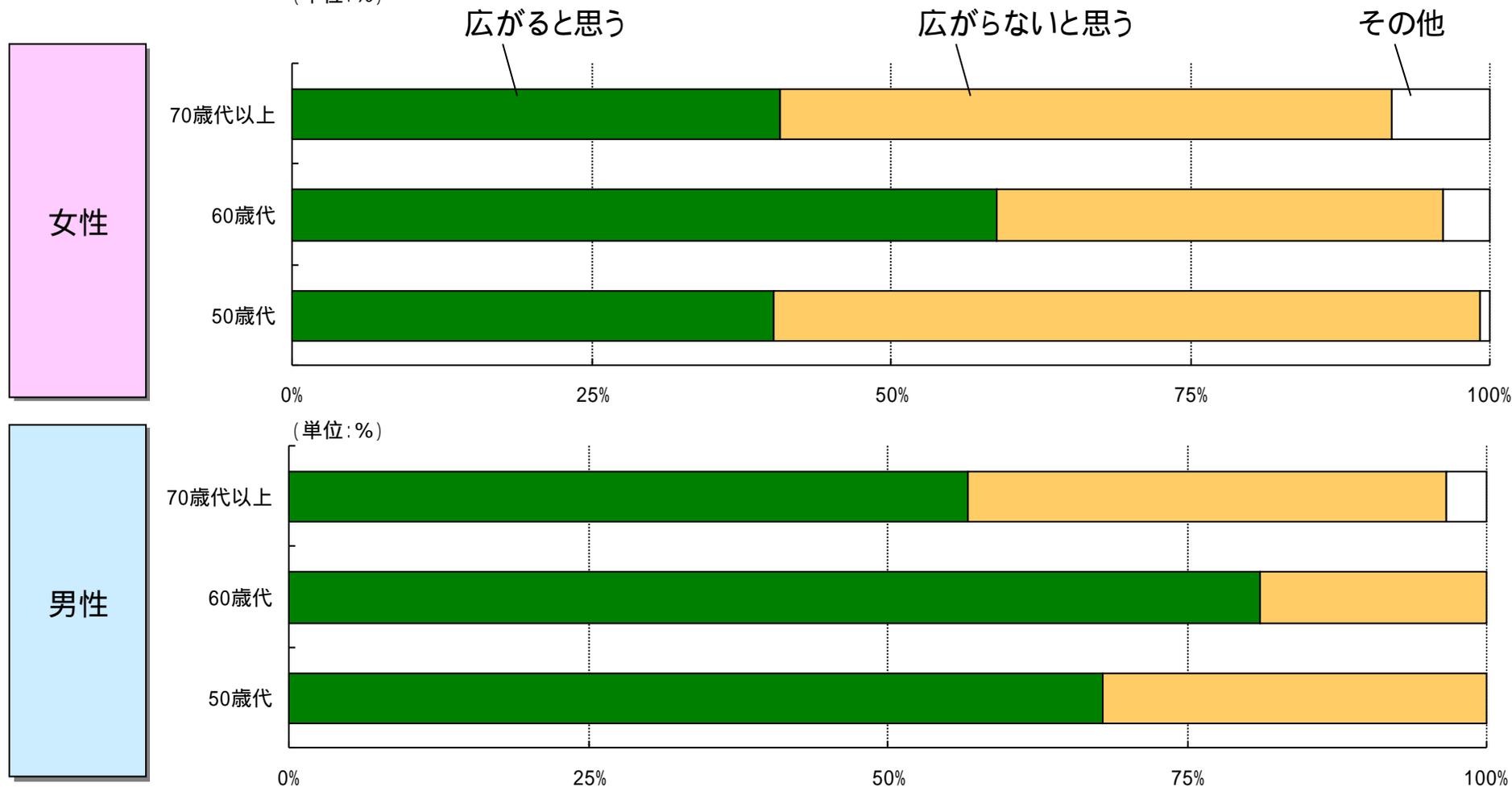
50歳代、60歳代の2割は見直し意向あり

# インターネットでの保険購入について

F50世代にインターネットでの保険の購入が広がるか？ (性別年齢帯別%)

N=414

(単位: %)

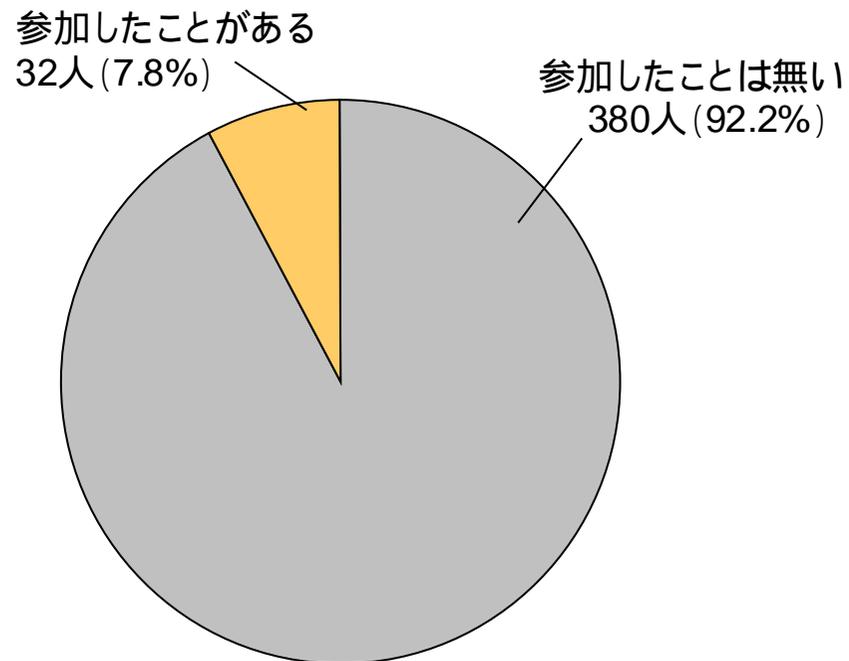


インターネットでの保険購入についてはおよそ半分は肯定派、男性の方が全般に肯定的

# 生命保険に関するセミナー参加経験と参加意向

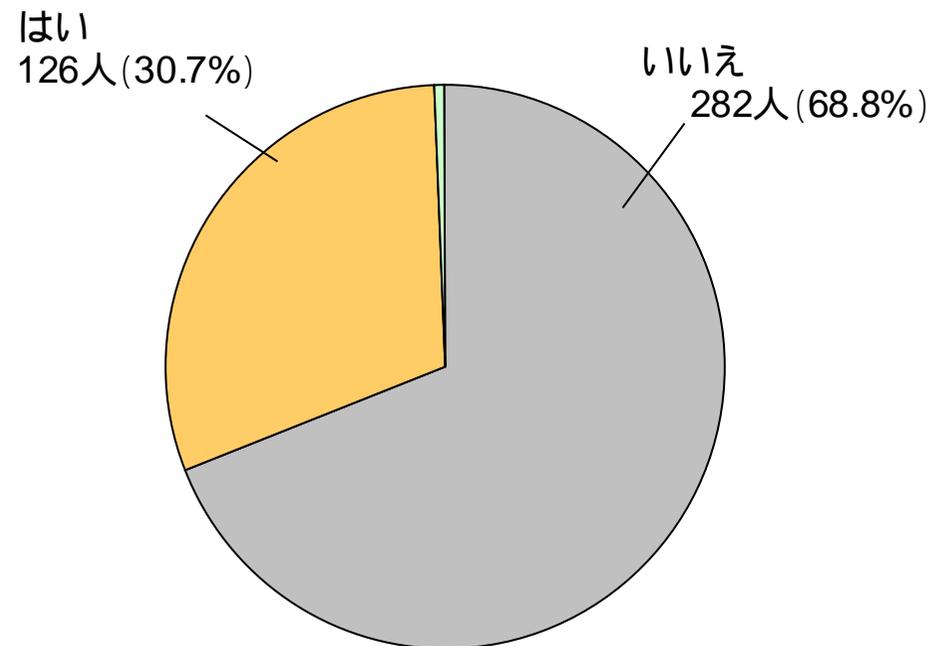
## 生命保険会社が主催するセミナーへの参加経験

N = 412人



## 生命保険に関するセミナーの案内をさし上げてもよろしいですか？

N = 410人



セミナー参加経験者は少ないが、3割が案内の受取を許容

## 本調査の概要

---

調査テーマ	■ 50歳代以上の男女を対象に生命保険に関する意識および利用実態に関する調査
調査方法	■ 質問票によるアンケート調査
調査期間	■ 2010年2月19日 ~ 2010年3月5日
調査票送付先	■ 首都圏在住、50歳以上の男性および女性 ■ 送付対象者数 1,550名
回答数	■ 回答者数 414名 ■ 回収率 26.7%